

峰岸下自治会と自主防災会

大規模災害想定し訓練

峰岸下自治会(前場秀雄会長)と峰岸下自主防災会(同)による第2回災害時安否確認防災訓練が11月6日に行われた。同地区では現在約400世帯が加入しており、2

019年度から6年計画を作成して、災害対策に取り組んでいる。

当日は午前9時に震度5弱以上の地震が発生した想定で訓練を開始。峰岸下自治会内の一部共同住宅を除く31組が参



自治会役員、消防団員らが参加

加、防災指導員等自治会役員、地元消防団、防災協力事業所の計25人が参加した。峰岸集会所が使用できない場合を想定し、防災協力事業所である(株)丹野設備工業所に本部を設置した。

訓練では同自治会が市内で初めて採用した「災害時安否確認カード」が掲示され、各組長が確認して本部への報告を行った。報告後には要援護者に対して民生委員・児童委員や看護師が各戸訪問し、安否再確認を実施した。

また、太陽建機レンタル(株)と災害時のレンタル機材(大型発電機)提供に関する協定を結んでいる同自治会では、丹野設備工業所内の深さ48mの災害時協力井戸から生活用水を取水する訓練なども行われた。

宝泉寺公園内防災倉庫では、インバーター発電機、チェンソー、折りたたみ式リヤカーや仮設トイレなどの取り扱い方法も確認された。

前場会長は「民間企業や地元消防団などとの連携がうまくできている。訓練を継続することで住民の助け合いの意識が高まってきていると感じている」と話した。